

4. 1995年の手足口病の流行について

【微生物科】

川 本 歩 ・ 戎 谷 佐知子 ・ 田 川 陽 子
本 田 達之助

はじめに

鳥取県における1995年シーズンの手足口病の患者発生状況は、1988年に次ぐ規模の流行状況であった。

そこで、患者発生状況とウイルス分離結果について報告する。

材料と方法

1. 材 料

検 体：鳥取県サーベイランス検査定点医療機関から得た手足口病患者数102名105検体（咽頭拭い液、水疱内容液、便）

調査期間：1995年4月～10月

2. 方 法

患者発生状況：鳥取県感染症サーベイランス情

報によった。

ウイルス分離：Vero, RD-18S 細胞使用

型 別 同 定：国立予防衛生研究所分与の抗血清を用い中和法で行った。

結果および考察

1. 患者発生状況

鳥取県における年別患者報告数を1982年からみると1982、83、85年の中規模流行と、1988年の2133人の大流行がみられる。

1988年以降大きな流行はなく1995年は1523人の報告数でサーベイランス開始以来2番目の規模の流行となった。

1995年の地区別、週別患者発生状況を図1に示した。

第14週から流行がはじまり第25週でどの地区もピークを示し第32週で終息傾向を示した。

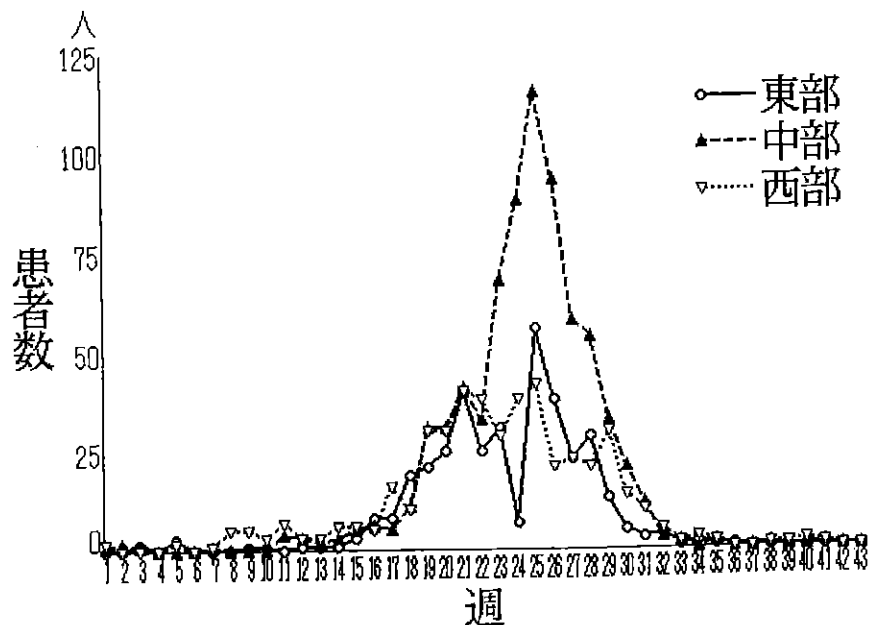


図1 地区、週別患者発生状況（1995年）

地区別にみると、中部地区の報告数が最も多く、多い順に中部地区713名、西部437名、東部372名であった。

2. 年齢分布状況

患者報告のあった1523名の年齢別分布状況を図2に示した。

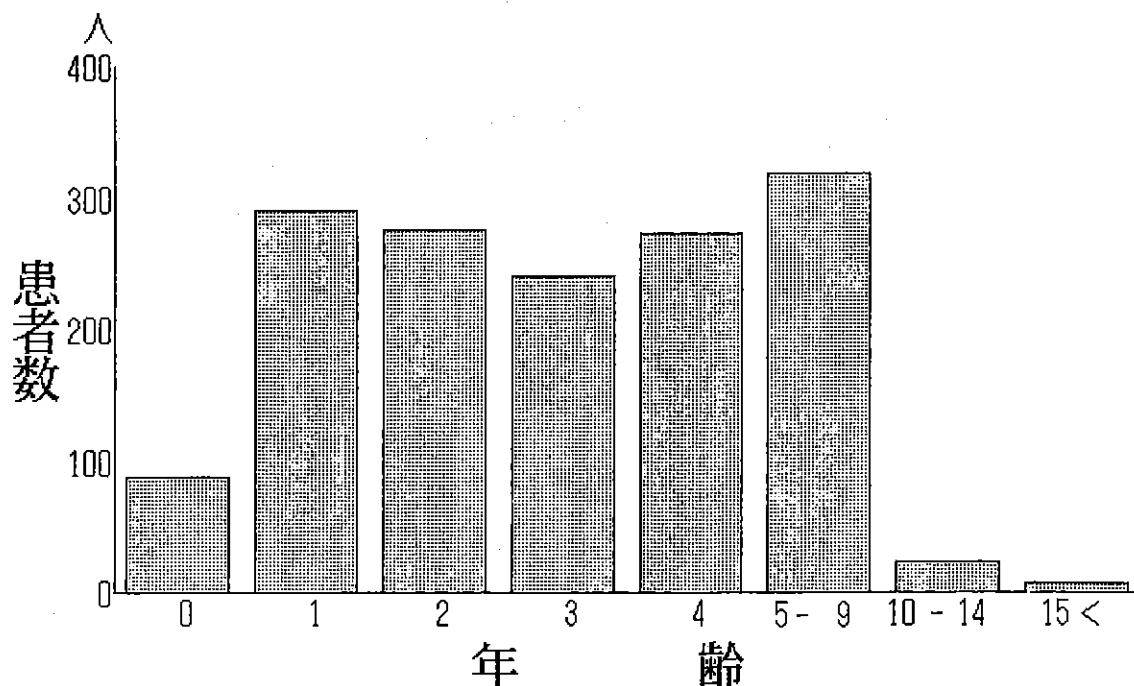


図2 年齢別分布状況

4才以下の年齢層が76.8%をしめていた。5～9才の年齢構成比を1988年と比較すると1988年15.9%、1995年20.9%と高年齢小児の罹患が示唆されウイルスの流行規模および間隔の違いにより感受性者の年齢層が異なったことによると考えられた。

3. 臨床症状

当所の受入れ検体102名の調査表の記載にもとずき発熱の有無をみた。(表1)

1才では26名中19名が発熱症状を認めそれ以上の年齢層では発熱を示さない方が多かった。

一方、6例の同胞感染例があり4組からCA16型ウイルスが分離されていた。またシーズン内に2回の罹患例が3例あったがウイルスは分離されなかった。舌炎、アフタ口内炎などを認めたのは3例のみであった。

4. ウイルス分離状況

1) 材料別分離状況を表2に示した。咽頭拭い液、水疱内容液からウイルスが分離されたが、唾液、便は検体数も少なくウイルスは分離されなかった。すべての検体からの分離率は55.2%であった。また第1病日と第5病日にCA16型ウイルスが分離

され第7病日にはウイルスが分離されなくなった1例の症例を認めた。

2) 地区別ウイルス分離状況を表3に示した。

各地区とも4月からウイルスが分離され5、6月がピークとなり9月まで分離された。

東部地区ではCA16、E71の2種類が検出され他地区との違いがみられた。

ま と め

1. 患者発生状況は1988年以來の大流行で流行は、第14週からはじまり第25週でピークを示し第32週で終息した。
2. 主要原因ウイルスはCA16型ウイルスで分離ウイルスの71.1%をしめた。
3. ウイルス分離率は咽頭拭い液、水疱内容液とも同様の分離率で55.2%であった。

表1 年齢別の発熱症状の有無

年齢(才)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	35
患者数	9	26	12	18	16	11	5	1	1	2	1
発熱無	5	7	10	12	11	8	3	1	1	2	1
発熱有	4	19	2	6	5	3	2				
37~	3	4		4	3	1					
38~	1	14	2	2	2	2	2				
40		1									

表2 材料別分離状況

材 料	検体数	ウ イ ル ス 分 離 数					分離率(%)
		CA16	E71	未同定	計		
咽頭拭い液	88	38	6	7	51	(58.0)	
水疱内容液	12	5	1	1	7	(58.3)	
唾 液	4	0	0	0	0	(0)	
便	1	0	0	0	0	(0)	
計	105	43	7	8	58	(55.2)	

表3 地区別ウイルス分離状況

月		4	5	6	7	8	9	10	計
地区	分離ウイルス								
東 部	検 体 数	9	22	18	5	1	2	1	58
	C A 1 6	5	7	10	2		1		25
	E 7 1	1	4	1					6
	未 同 定	2	3				1		6
中 部	検 体 数	3	11	13	9		1		37
	C A 1 6	1	2	7	4		1		15
	E 7 1						1		1
	未 同 定		2						2
西 部	検 体 数	2	4	2	2				10
	C A 1 6	2			1				3
計	検 体 数	14	37	33	16	1	3	1	105
	C A 1 6	8	9	17	7		2		43
	E 7 1	1	4	1	1				7
	未 同 定	2	5				1		8